

## 十三小学校研究推進便り

10月12日(水)、5時限目 第4回の研究授業。

5年 表現の面白さを考えよう。

「注文の多い料理店」

川上 辰英 学級

## &lt;研究授業参観に当たって&gt;

どんな発問にすれば子ども達が文章から根拠を見つけ、理由を考えて自分の考えを持つことができるのかということについて、何度も検討を重ねてできた指導案です。協働学習を通して、子ども達の「なるほど！わかった。そうか！」等々の反応を期待して！

## &lt;研究授業では、つぎの視点でみてください&gt;

単元構成の工夫（単元を貫く言語活動）

「読みの観点」の習得→活用が図れる流れであったか。

- ① 言語活動に迫るための活動が効果的であったか。

協働的な学びに迫る交流について

- ① 考えを深める主発問であったか。
- ② 自分の考えを持つための工夫（ワークシートやノート指導、助言、思考ツール等）
- ③ 交流のあり方

言語力・表現力を高める工夫

- ① 掲示物は適切か。
- ② 関連図書が生かされているか。

## &lt;川上先生のつぶやき&gt;

子どもたちは「注文の多い料理店」の物語をとても気に入っており、初発の感想でも「なぞが多い。もっと知りたい。」「しんしはなんで最後まで戸の言葉の本当の意味に気づかなかったのだろう」など、この物語の内容に対して積極的に考えようとする姿勢がありました。

さて、本時は登場人物のしんしが「しんし」なのか考え、物語の内容の理解を深めていきます。叙述から根拠を見つけ理由づけし、上手に自分の意見を発表できるかな。

活発な話し合いになることを願って…。

## &lt;授業参観後の討議会について&gt;

ワークショップ型の討議会を行います。授業を参観しながら、気付いたことを付箋「成果（ピンク）」「課題（黄）」「改善策（青）」に記入してください。

今回は、3班（1グループ4～5人）に分かれて話し合います。裏面で班と役割を確認してください。

○自分の思いや考えを広げたり高めたりするための話し合いの評価をする。

- (低学年)
- ・大事なことを落とさずに話したり聞いたりできたか。
  - ・順序を考えて話すことができているか。
  - ・自分の意見に理由を言うことができたか。
- (中学年)
- ・友達の見解を聞いて自分と同じところ、違うところを意識できたか。
  - ・友達の見解に対して自分の考えを言うことができたか。
  - ・理由や例などを挙げて自分の見解を説明できたか。
- (高学年)
- ・お互いの見解を聞いて、考えの変化に気づいたり、新たに思ったことや考えたことが見つかったりしたか。
  - ・目的や意図に応じて的確に話しあうことができたか。
  - ・複数の根拠を関係づけながら話すことができたか。